

悩みはたくさん。。。。

話し出すのが遅かった。話しが伝わらなくて、怒ってしまうことがあった。

学校から帰ると、ランドセルが空っぽだったり、筆箱の中が空っぽだったり、忘れ物が多い。

コミュニケーションをとるのが苦手なのかもしれない。

周りの子は人見知りが始まる時期なのに、全く人見知りしないことに違和感を感じた。

生まれた時から、目線が合わなくて、あれ？と思うことがあった。

周りの子と比べて、成長のペースが遅いかもしれない…。

一人ひとり違う「色」
色とりどりの色があるように、私たちには個性があり、一人ひとり違う「色」があります。
そして、個性があるように、成長の過程といわれている「発達」も一人ひとり違います。
お子さんの「気になること」ありませんか？

ターネットにあふれる様々な情報に触れて一人で悩んだりする方もいるかもしれません。昨年度、子育て世代を対象に開催した「子育てタウンミーティング」では、「子どもの発達に不安を感じた時に、福祉や医療、教育について一体的に相談したい」、「同じ悩みを抱える同年代の子育ての先輩から話を聞ける機会がほしい」等、子どもの発達に関する悩みやご意見が寄せられました。
今月は、そんな不安になった時に相談できることや子どもの発達を支援する町や地域での取り組みをご紹介します。
子育てをしていて、もしも「あれっ？」と思ったら、一人で抱え込まずに、まずは誰かに相談してみましよう！

特集 こどもの発達

みんなそれぞれ違う色

インタビュー
乳幼児期は、信頼感を育む大切な時期

発達には個人差が大きく、同じ年度に生まれたお子さんでも、生まれた月によって差がみられます。また、言葉や運動の面などの育ちにも個人差があります。
特に乳幼児期は、生活リズムを作り始める大切な時期です。保護者など身近な大人の関わりの中で、愛されること、大切にされることで、情緒的な絆（愛着）が深まり、情緒が安定し、人への信頼感を育みます。
お友だちやインターネットの情報と比べてしまうと焦ったり、不安になったりしてしまいがちです。何かとの比較ではなく、一人ひとりの発達に目を向け、ありのままの子の成長を見守っていきたいですね。



(社福)一燈会 放課後デイサービス
トゥモロランド 児童発達支援管理責任者
いしおび のぶひこ
石飛 信彦さん (上延沢)